

2024年6月21日
SB プレイヤーズ株式会社

ゲノム編集技術を用いた農作物の種苗開発を行う

グランドグリーン株式会社への出資について

～農業の革新で食糧問題に取り組むスタートアップ企業を応援～

ソフトバンク株式会社の子会社で行政・地方公共団体向けソリューションを提供する SB プレイヤーズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 兼 CEO：藤井 宏明、以下「当社」）は、ゲノム編集技術などを活用した新種苗の研究、開発を行うグランドグリーン株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：丹羽 優喜、以下「グランドグリーン社」）が実施した第三者割当増資の一部を引き受け、2024年6月21日（金）に払い込みを完了したことをお知らせします。

当社は「情報革命で人々を幸せに～IT で地域社会に活力を～」を経営理念として掲げ、地域社会における価値創造を目指す事業を展開しています。

農業は日本の「食」を支える重要な地域産業の一つですが、昨今、担い手不足や輸入品との価格競争、肥料価格高騰による収益性の低下など、多くの課題が顕在化しており、効率的かつ安定的に農作物を生産することが求められています。

この度、当社が出資したグランドグリーン社は「Envision Future Plants. さあ、未来の子どもたちのために未来の植物を描こう。」のスローガンの下、ゲノム編集技術や最先端のテクノロジーを活用した農作物の種苗開発を行うアグリバイオスタートアップです。

一般的に、単純な選抜育種から交配育種を経た農作物の種苗開発には、5年～10年という長い時間と膨大なコストがかかるといわれていますが、ゲノム編集技術を活用すれば開発にかかる期間の短縮とコスト削減が期待でき、農業が抱える課題に短期間でアプローチすることが可能となります。

テクノロジーを活用して社会課題を解決するグランドグリーン社の取り組みが、当社の第一次産業分野における考え方やビジョンと同じ方向性を持つことから、持続可能な社会の実現に向けて、地域農業の活性化を支援するために出資しました。

当社は、今回の出資を通じて、グランドグリーン社の技術が地域活性化および社会課題の解決に寄与すると考えています。将来的には、当社グループの農業事業との連携の可能性についても検討していきます。

■ SB プレイヤーズ株式会社について

事業子会社を通して公営競技投票券のインターネット販売事業（オッズ・パーク株式会社）や、ふるさと納税の一括代行事業（株式会社さとふる）、先端施設による農業事業（株式会社たねまき）などのサービスを展開しています。国や地方自治体、地域企業との連携によって革新的なサービスを創出し、地域の活性化に貢献していきます。

SB プレイヤーズ株式会社：<https://www.softbankplayers.co.jp/>

■ グランドグリーン株式会社について

グランドグリーンは次世代の食農を創造する研究開発型のアグリバイオスタートアップです。食農分野を取り巻くさまざまな課題に対するソリューションとして、独自のゲノム編集技術や最新の知見を組み合わせ、新しい作物と生産のあり方を種苗分野から提案します。独自開発した新たな育種技術のサービス提供を展開しており、共同研究パートナーも随時募集しています。

グランドグリーン株式会社：<https://www.gragreen.com/>



- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
 - その他、このプレスリリースに記載されている会社名およびサービス名などは、各社の登録商標または商標です。
 - このプレスリリースに記載されている内容、サービス、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報はその後予告なしに変更される場合があります。
-